

電気グリラー 取扱説明書

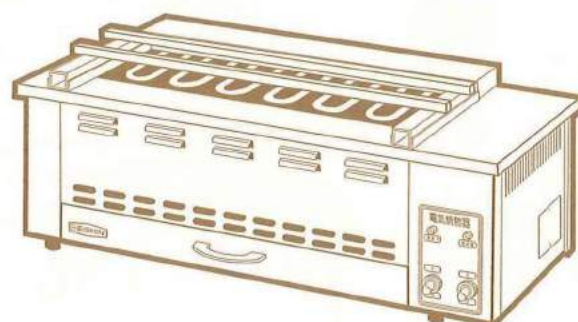
型式 T-1,T-3

このたびは、電気グリラーをお買い上げいただき、ありがとうございました。

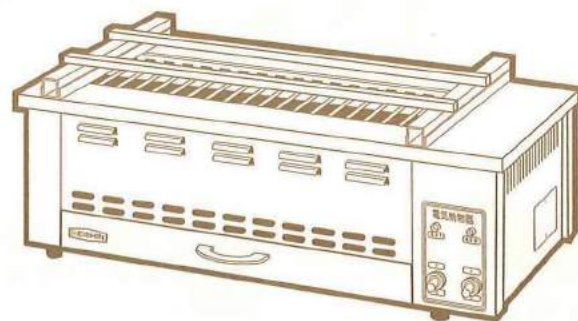
この取扱説明書は、T-1,T-3両型式を同時に記載しておりますので、お客様がお買い上げになられた型式を確認の上、ご使用の前にこの「取扱説明書」と「保証書」をよくお読みいただき正しくお使いください。

お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

T-1



T-3

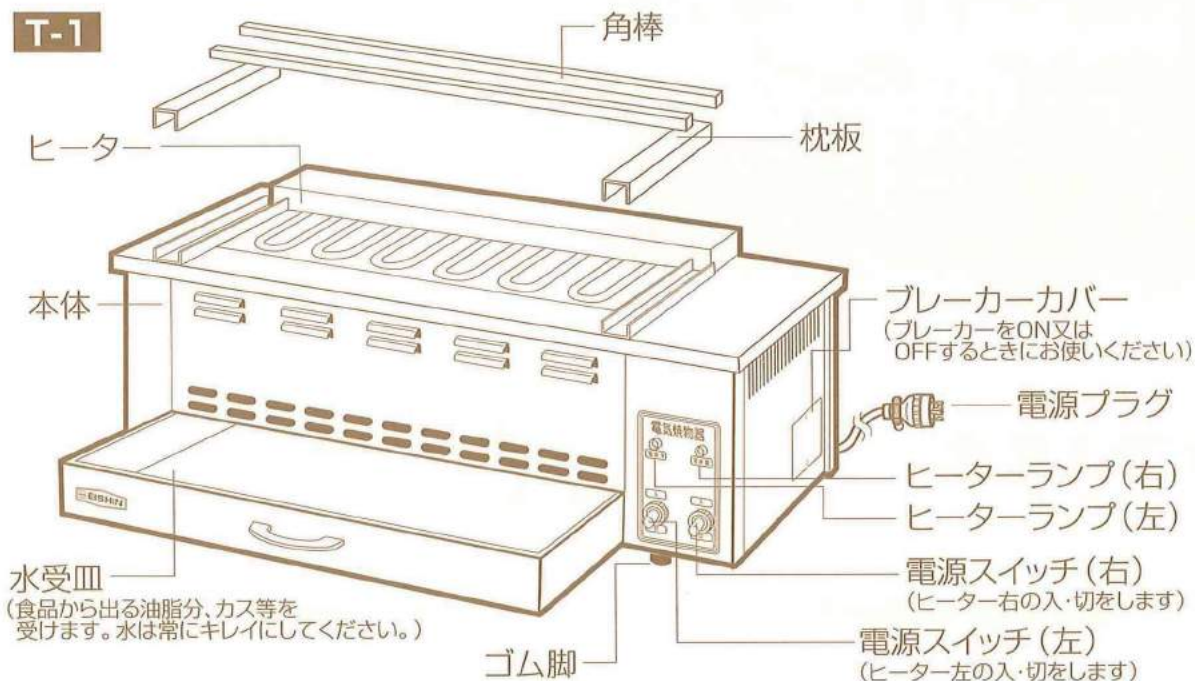


目 次

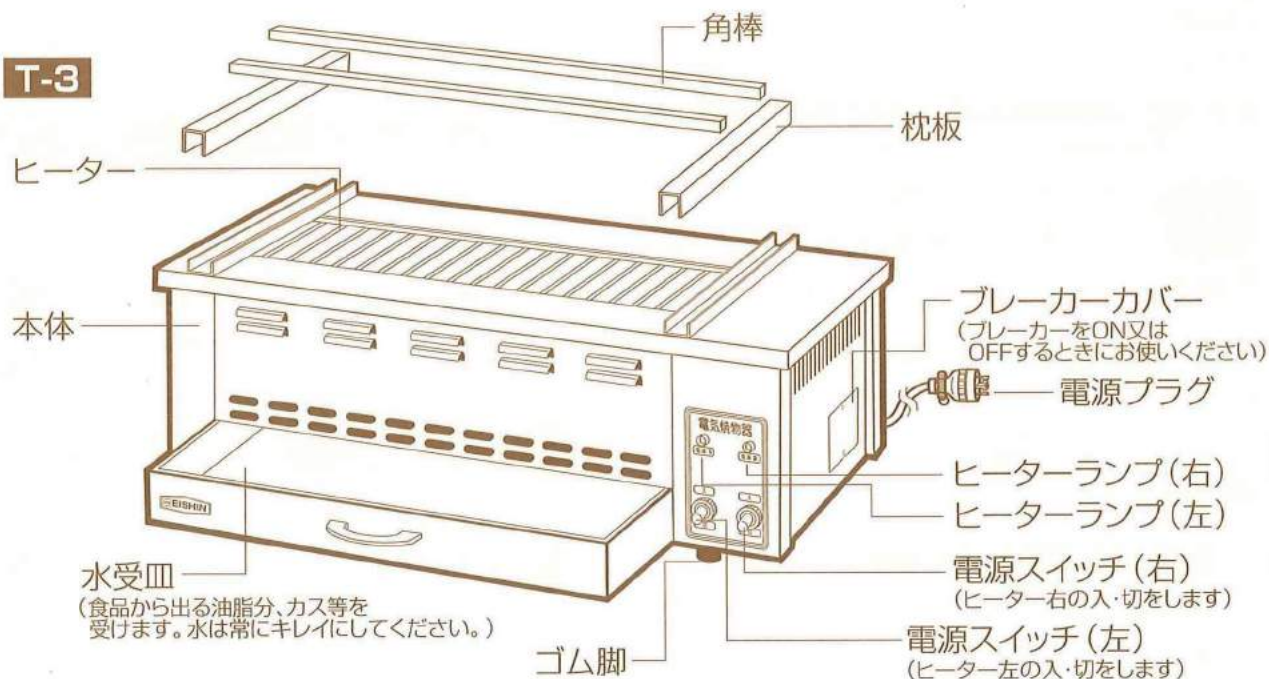
- 各部の名称とはたらき・・・・・・・・・・ 1
- 安全上のご注意・・・・・・・・・・ 2～4
- ご使用の前に・・・・・・・・・・ 4
- ご使用方法・・・・・・・・・・ 4
- ご使用後およびお手入れの仕方・・・・ 5
- このようなときには・・・・・・・・・・ 5
- 修理を以てされる前に・・・・・・・・・・ 5
- アフターサービスについて・・・・・・・・ 6
- 仕様・・・・・・・・・・ 6

各部の名称とはたらき

T-1



T-3



注意

水受皿: 水受皿は油脂分、食品カスなどを取り除き、清潔な状態で水の分量を常に7～8分目に保ってください。油脂分や食品カスが除去されていないと発火等の危険性があります。



注意

ヒーターの清掃: 一日の作業終了後、電源スイッチ左右を切にして電源プラグを抜き、ヒーターの熱が充分冷えてからヒーター表面に付着した油脂分、食品カスその他の付着物をやわらかい布等で拭き取って常に清潔な状態でご使用ください。

安全上のご注意①

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき正しくお使いください。ここに示した注意事項は、電気グリラーを安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。その内容により「警告」と「注意」に区分してあります。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示の意味は次のようになっております。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しております。

図記号の意味

 「警告」や「注意」を促す事項を表します。  「禁止」を表します。  必ず行う事を表します。

警告

屋外設置禁止



禁止

屋外で使用しないでください。雨水のかかる場所でご使用になりますと漏電、感電の原因になります。



電源コード・プラグ



専用コンセントの使用

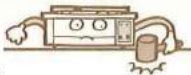
電源は専用コンセントを使用してください。電源コードを途中で接続したり延長コードやタコ足配線をする、感電や発熱、火災の原因になります。

水平に据え付ける



水平に据え付け

据え付けはテーブルが丈夫で、製品の重量に耐える平らなところへ水平になるよう据え付けてください。地震などで転倒移動しないよう金具等で固定してください。据え付けに不備があると転倒や落下などによるケガの原因になります。



製品に直接水をかけない



禁止

製品に直接水をかけないでください。水のとび散る近くでの使用、洗浄の際の水洗いはショート、感電、漏電等の原因になります。



分解禁止



分解禁止

修理技術者、専門業者以外の方は絶対に、分解したり修理や改造を行わないでください。修理に不備があるとやけどや感電、火災の原因になります。

アース工事を確実に行う



アースをする

アース工事を確実に行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり引っ張ったり、束ねたりしないでください。また重いものをのせたり、挟み込んだりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。



濡れた手で電源プラグに触らない



禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたりスイッチの操作をしないでください。感電の原因になります。



定格電圧以外で使用しない



禁止

定格電圧以外では使用しないでください。表示以外の電圧で使用すると感電や火災の原因になります。

異常時には



電源プラグを抜く

異常時は電源プラグを抜くか、元電源を切って運転を停止してください。異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



安全上のご注意②

警告

可燃性スプレー使用禁止



禁止

可燃性スプレーを近くで使用したり可燃物を近くに置かないでください。スイッチの火花やヒーターの熱などで引火して、発火の原因になることがあります。



漏電しゃ断器が作動したときは



専門業者に確認を

屋内の漏電しゃ断器が作動したときは販売店または専門業者にご相談ください。無理な電源の復帰をすると感電や火災の原因となります。



高温部に注意



禁止

通電中や作業終了直後はヒーターや本体に触れないでください。高温のため、やけどの原因になります。



電源プラグの定期確認



定期確認

電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着していて接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない



禁止

傷んだ電源コードや電源プラグ及び、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電、ショート、発火の原因になります。



製品の使用を一時的に中止するときは



電源プラグを抜く

製品の使用を一時的に中止するときは安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。ほこりが溜まって、発熱、発火の原因になることがあります。



水受皿には必ず水を入れる



水の点検を

- ・水受皿には7～8分目まで水を入れてください。
- ・定期的に油脂分や食品カス等を除去してください。
- ・定期的に水分量を点検してください。水分量が少ないと機器の温度上昇にもなり危険です。

水の飛び散る近くで使用しないでください



禁止

水の飛び散る近くで使用しないでください。ヒーターや電気部分に直接かかると飛散したり漏電の危険性があります。

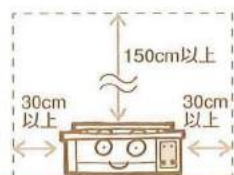
注意

据え付けは周囲から離して



周囲をあける

製品の周囲は30cm以上、上面は150cm以上隙間をあけて据え付けてください。さらに周囲、設置面、天井部に防火対策を施してください。



電源プラグを持って抜く



電源プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは、先端のプラグを持って行ってください。コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線して、発熱、火災の原因となります。



漏電しゃ断器の定期動作確認



定期動作確認

屋内の漏電しゃ断器は定期的に動作確認をしてください。漏電しゃ断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。



清掃時は電源を切って行う



電源プラグを抜く

電気グリラー本体の掃除をするときは、必ず電源スイッチを切にして電源プラグを抜いてヒーター、本体の熱が充分冷えてから行ってください。



安全上のご注意③

⚠ 注意

電気グリラーとして使用する



目的にあった
使用を

電気グリラーとして使用してください。
目的以外の用途で使用すると、過熱や異常動作して発火やケガなどの原因になることがあります。

長期間ご使用にならない時は



電源プラグ
を抜く

長期間ご使用にならない時は機器のゴミ、ホコリを充分拭き取り、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



一日の作業が終了したらヒーターを清掃する



ヒーター清掃

一日の作業が終了したら、電源スイッチを切にし電源プラグを抜き、ヒーターが充分冷えてからヒーター表面の付着物を拭き取る…これを行いませんとヒーターが部分的に過熱したりする事があります。

水受皿の水は常に清潔に 分量は7～8分目を確保してください



水は清潔に
分量を確保

水受皿は油脂分、食品カスを取り除き、清潔な状態で水の分量を常に7～8分目に保ってください。

ご使用の前に

据え付けについて確認してください

- ⚠ **警告** 水平で丈夫な場所に据え付けられているか確認してください
- ⚠ **警告** 水受皿には必ず水を7～8分目まで入れてください。（水受皿の水は常に清潔で7～8分目を保ってください。）
- ⚠ **注意** 据え付けは周囲30cm以上、高さ150cm以上離して行ってください。さらに周囲、設置面、天井部に防火対策を施してください。
- ⚠ **注意** 電源を通電する前に！
ブレーカーがOFF、電源スイッチ左右が切になっていることを確認してから電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ⚠ **注意** ・枕板をセットしてください。
・角棒は焼成する食品の大きさによって自由に設定してください。

ご使用方法

温度設定

型 式	正 面 パ ネ ル	設 定 方 法
T-1 T-3		○ 左右の電源スイッチを各々入にしますとヒーターに通電されます。 ○ 電源スイッチ上部の各々の電源ランプ（赤）が点灯します。（ヒーターの表面が充分赤く熱せられてから焼き始めてください。） ※正面パネルの電源スイッチを左又は右のみ入にしてヒーターの加熱を各々半分ずつ行うことができます。目的に合わせて選択してください。

ご使用後およびお手入れの仕方

- ⚠ 注意**
 - ・一日の作業が終了したら、電源スイッチの左及び右を切にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・水受皿を抜き中の油脂分や食品カスを除去し、水を捨てキレイに清掃してください。
- ⚠ 注意**
 - ・ヒーターの熱が充分冷えているのを確認してヒーターに付着した油脂分、食品カスその他の付着品をやわらかい布等でキレイに拭き取ってください。特にヒーター表面は酸、塩分の影響で寿命が大きく左右されます。
- ⚠ 注意**
 - ・製品に水などを直接かけて洗淨しないでください。
- ⚠ 注意**
 - ・お手入れの際、たわし、酸、熱湯、シンナー、クレンザー等は素材を傷めますのでご使用にならないでください。
- ⚠ 注意**
 - ・ステンレスのお手入れ（本体）
酸、塩分、汚れなどがついたままになっていたり、汚れた品物が直接触れていたり、さらに赤サビが表面についていると錆びやすくなります。錆びの原因となる汚れは中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水を浸した布で拭きとり、更に乾いた布で水分を拭きとってください。



このようなときには

停電したとき

- ・左右の電源スイッチを切にしてください。
- ・停電が解除されて運転を再開する時は、電源スイッチ左右（又は使用目的によって左か右）を入にしてください。

長期間お使いにならないとき

- ・長期間お使いにならない場合には、電源スイッチ左右を切にしてブレーカーをOFF、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・製品本体、特にヒーター表面の清掃を行ってください。

修理を依頼される前に

ご使用中に万一調子が悪くなった場合は、次のことをお調べになってから、お買い上げの販売店またはエイシン電機株式会社本社、またはお近くの営業所にご連絡ください。

症 状	原 因 と 考 え ら れ る こ と
電源が入らない	・ 停電していませんか？ ・ 電源スイッチが左右とも切になっていませんか？ ・ 電源ランプ（赤）が点灯していますか？ ・ 本体右側面のブレーカーカバーの中にあるブレーカーがOFFになっていませんか？ ・ 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ・ お店の電源ヒューズや配線用遮断器が切れていませんか？ ・ 電路にある漏電しゃ断器が切れていませんか？ ・ 屋内のコンセントが痛んで、電源プラグを差し込んでもゆるくガタガタになっていませんか？ ※注意 この場合電源プラグから発熱、発火の恐れあり。使用をやめて、別のしっかりした場所のコンセントを利用してください。
温度が上がらない	・ ヒーターが赤く熱せられていますか？ ・ ヒーター表面に油脂分や食品カスなどの付着物で覆われていませんか？ ・ 屋内のコンセントが痛んで、電源プラグを差し込んでもゆるくガタガタになっていませんか？ ※注意 この場合電源プラグから発熱、発火の恐れあり。使用をやめて、別のしっかりした場所のコンセントを利用してください。

…以上をお確かめください。

- ⚠ 注意** 上記の症状が直らない場合は、左右の電源スイッチを切にブレーカーをOFFにして電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、更に電路にある漏電しゃ断器、配線用しゃ断器をOFFにしてください。

アフターサービスについて

1. 保証について・・・・・・・・保証書を別途添付しております。保証書は記載内容をご確認いただき大切に保存してください。
2. 保証期間中の修理・・・・・・・・保証書に記載のとおり、保証期間を設け、その記載内容により、お買い上げ販売店が修理します。
3. 保証期間後の修理・・・・・・・・保証期間後の修理については、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望によって有料修理いたします。お買い上げ販売店にご相談ください。
4. ご不明な場合・・・・・・・・アフターサービスについてご不明な場合はお買い上げ販売店又はエイシン電機株式会社本社又は営業所にお問い合わせください。
5. 修理を依頼される場合は次のことをお調べの上、お知らせください
 - ・製品の型式・・・・・・・・ネームプレートに記載
 - ・故障の状況
 - ・お買い上げ日と製造番号
 - ・お客様の住所、電話番号
 - ・訪問ご希望日

仕 様

電気グリラー

仕様 \ 型式	T-1	T-3
外形寸法 (mm) 巾×奥行×高さ	750×315×250	740×340×250
材質 (本体)	ステンレス鋼板	ステンレス鋼板
電 源	3φ 200V	3φ 200V
消 費 電 力	2.4kw	4.5kw
電源スイッチ	2	2
電 源 ランプ	2	2
ブレーカー	1	1
適合コンセント	接地3P20A引掛式	接地3P20A引掛式
付 属 品	水受皿・枕板2・角棒2	水受皿・枕板2・角棒2
製品重量 (kg)	17	20

お客様ご相談窓口



適温を追求する

エイシン電機株式会社

- 本社 〒240-0003 横浜市保土ヶ谷区天王町2-39-3
TEL (045) 332-3270(代表) FAX (045) 331-6950
- 大阪営業所 〒532-0022 大阪市淀川区野中南2-6-26イナオカマンション1F
TEL (06) 6390-5777(代表) FAX (06) 6390-3773
- 新潟営業所 〒959-1276 新潟県燕市大字小池字中通3633-8燕小池工業団地
TEL (0256) 66-1321 FAX (0256) 66-1331
- 高知営業所 〒780-8130 高知市一宮535
TEL (0888) 45-4325 FAX (0888) 45-4325
- 福岡連絡所 〒812-0053 福岡市東区箱崎3-8-38(サンライン商事)
TEL (092) 631-3015 FAX (092) 631-3268
- 工場 横浜工場・新潟工場